



校長室だより

第7号

H23.6.27

桐ヶ丘中学校

校長 永嶋昌博

ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.kita-tky.ed.jp/~jh62/>

最近、天気のはっきりしない梅雨の季節となりました。この梅雨(つゆ)という言葉のもつ響きには、その季節の様子を表すように湿った感じがします。そう感じるのは私だけでしょうか。しかし梅雨も紫陽花に代表されるように趣のある季節かも知れません。特に農家では、この梅雨の時期の雨が農作物に大きな役割を果たしているのだから。



このところの猛暑が一休みしてくれているようです。子どもたちもさすがに参っていたことでしょう。熱中症でたくさんの方が病院へ搬送されたと新聞等のニュースで見ました。急に暑くなると体の体温調節機能がついて来ないのでしょうか。これからの季節は「水分」をこまめにとることが熱中症の予防になります。湿度も熱中症の原因にもなります。私もジョギングで走っていると、汗の出方がこれまでと全く違うと感じます。ランニングシャツからは絞るように汗が出ます。公園では、水道水をがぶがぶ飲みます。そんなこんなで、この夏も11月に行われる小江戸川越マラソン21キロハーフをめざし、練習に励むことになりそうです。私のマラソン仲間が「7月に川越を試走しよう！」という話になり、夏休みに走ることになりました。朝のうちに走らないときついでしょうね。

<進路のこと 中間考査はどうでしたか?>

先週、今年度初めての中間考査が行われました。1年生にとっては初めての定期テストでしたが結果はどうだったでしょうか?小学校でも小さなテストはありましたが、中学校のようにまとめてある一定の範囲で出題されるのはきっと初めての経験だったと思います。「テスト範囲が広すぎて勉強が十分できなかった」なんていう人もいたのではないのでしょうか。急に試験勉強だけをはじめてもなかなか思うような成績は取れないと思います。毎日の学習の積み重ねが大切です。1年生のうちにしっかりした学習習慣を身につけると学年が進んだときに楽になります。

「3年生になったら頑張る」という子どもがよくいますが、それでは遅すぎます。もちろんやらないよりはずっといいのですが、学習は3年間を通して行うものです。進路についても同じことがいえます。今の自分の目の前のことを一つ一つ真剣に取り組んでいけば、それが未来へとつながっていきます。真剣にやればやるほど、覚えたことは後でも忘れません。むしろ「思い出のように」記憶として残っていきます。勉強とはそういうものです。いい加減な気持ちで「分からないからやめた」とすぐにあきらめている人はいませんか?それは自分をごまかしているだけです。「分からない」なら「分かるまであきらめない」で努力するのです。苦勞をしない勉強なんてあり得ません。苦勞したからこそ勉強したことを忘れないで身につけることができます。

3年生諸君は、先週、進路説明会で高等学校の先生方のお話を聞きましたね。「やる気のない人やうちの高校の校則を守れない人は来ないでください」という話をされた高校の先生がいました。高校は規則が緩やかだと思っているのは大間違いです。入学してから卒業まで2割の生徒が退学をして行く現状があるそうです。中学校の校則が守れない子どもは、きっと高校の校則にはついて行けないかも知れません。現実には甘くはありませんね。中学生にとって、人生の中で最初の試練が進路の決定だだと思います。ひとつひとつ乗り越えて大人になっていきます。誰もがみんな通る道です。逃げずに正面から受け止めて行きましょう!